



は せ がわ  
**長谷川**

ただし  
**正**

む かい は  
**無 会 派**

### 三重交通の路線バスの料金について

**問** 路線バスは、高齢者の方が通院や日用品を購入する際など、日常生活にとって欠かすことのできない公共交通機関である。

三重交通が実施している運転免許返納者割引定期券「セーフティーパス」の対象者を65歳以上の全ての高齢者に広げるよう要請してはどうか。また、現在このパスの恩恵を受けていない高齢者に対して、市としての割引・助成等の支援の考えは。

**答** 「セーフティーパス」のような割引制度を全ての高齢者に広げていくことは、より多くの方に公共交通を利用していただけることとなり、高齢者への公共交通の利用促進等を喚起していくためにも効果が高いものと考えている。事業者とは高齢者の利用促進策について協議していることから、割引制度も含めて高齢者が利用しやすい料金体系について検討いただくよう引き続き要請を行っていく。

また、割引・助成等の支援については、高齢者の外出支援の方策の一つであると認識しているが、交通体系全体の中での仕組みづくり、対象者の考え方の整理、事業者側の対応等の課題もあることから、それらに対する効果的かつ効率的な支援方法を研究していく。

### ●その他の質疑・質問●

○つ市議会だよりの編集委員会は、議会での都合の悪いことは載せておらず、議会だよりとして機能していないことから、廃刊すべきでは

○高額な議員報酬を80%カットすべきでは

○議員定数は20人で十分では

○二人の副市長は職務に励んでいるように感じられないことから、必要ないのでは



▲高齢者の方々のために、路線バスの料金割引制度の充実を



あお やま のり たけ  
**青山 昇 武**

こうめいとう き いんだん  
**公明党議員団**

### 災害対策本部と避難所との連携の在り方

**問** 今回の台風第11号による避難所の状況において、対策本部と避難所との連携不足があった。

今後の災害対策に向けては、対策本部から避難所派遣職員への指示徹底が必要であり、派遣職員は現地での地域の方々との連携や状況掌握を迅速に行うべきである。どのように避難者の不安を取り除くのかを考え、対策本部からの情報発信をしっかりと行うべきである。

**答** 今回、対策本部の情報が避難所に届いていない現状があったことから、今後は双方が情報共有し、市民の方々に安心していただける避難所運営を行っていく。また、避難所要員については、年度当初に研修を実施しているものの説明会的なものになっていることから、現場でしっかりと動くことができる訓練の実施や避難所においてやるべきことを防災計画にも記載していきたい。

一方で、自治会や自主防災組織によっては、避難所運営委員会を準備されているところもあるため、そういった方々と助け合いながら、避難所要員がコーディネーターのような役割を果たすことも必要と考えることから、地域の方々とともにそのような準備も進めていきたい。

### ●その他の質疑・質問●

○防災教育について、授業の一環として月一回程度の避難訓練の実施をしていくべきでは

○ネット依存対策について

・保護者や教師への啓発を

○ペット殺処分ゼロの考えは

・市の状況と啓発及び対策

○危険ドラッグ根絶の取組を

・学校教育での意識啓発を

・相談窓口の設置が必要では

・条例の制定も必要では など



▲危険ドラッグの危険性について学校教育でしっかり啓発を